

チュートリアル課題 最近、咳が多い気がする

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-01-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032687

2016年度 Segment. 4

課 題 No.6

課題名：最近、咳が多い気がする

課題作成者： 第一外科学
第一病理学

井坂珠子
澤田達男



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

山田太郎さんは、75歳の男性です。テレビの禁煙のコマーシャルを見ていると、娘さんが言いました。「お父さんは大丈夫なの？タバコ吸ってるでしょ」そういえば、最近、咳が多い気がしました。健診も昨年は受けていません。なんだか心配になってきたので、近くの医院へ行ってみました。すると、医師から、「それでは、胸部エックス線写真を撮ってみましょう」といわれました。胸部エックス線写真を撮影後、医師から、胸部エックス線写真に異常があると言われました。

シート2

山田さんは医師から、「胸部エックス線写真で、肺にあやしい影があります。もっと詳しい検査をしたほうがいいでしょう。紹介状を書きますので、大学病院を受診してください」といわれました。後日、早速、東京女子医科大学病院呼吸器センターを受診しました。担当医から、「いろいろな、詳しい検査をしましょう。採血も必要ですね」と説明されました。

シート3

担当医から、「痰を採って顕微鏡で調べたところでは異常な細胞は認めませんでした。でも、診断をはっきりさせるため、気管支鏡で、細胞を採って病理検査をすることが必要です」と説明を受けました。

後日、気管支鏡検査を行いました。気管支鏡検査では、可視範囲に異常はなく、経気管支肺生検、擦過細胞診を施行されました。

また、他に、頭部MRI、PETを予約しましたが、山田さんは、胸の病気といわれたのに、どうして、別のところの検査をしなければならないのだろうと疑問に思いました。

シート4

検査結果を聞きに受診すると、担当医から、「気管支鏡検査で悪い細胞がでました。肺癌です。頭部MRIは異常なく、PETでも肺以外には異常ありませんでした。やはり、手術したほうがいいでしょう」と説明されました。

山田さんは、いきなり、手術をすると言われたので、不安になりました。

でも、担当医から「化学療法や放射線療法もありますが、手術で悪い部分をとるのが、最も確実です。小さな創で体に負担の少ない胸腔鏡の手術ができますから、大丈夫ですよ」と言われ、安心しました。

呼吸器外科に入院後、右肺上葉切除術、リンパ節郭清術が行われました。手術翌日から、歩くことも、食べることもでき、術後7日目に退院しました。

シート5

手術後に担当医の先生が説明してくれました。「診断は、原発性肺癌です。リンパ節に転移はありませんでした。でも、今後も、通院していただいて、経過を見る必要はありますよ」
山田さんは、悪いところはとったはずなのに、なぜ、通院しなければいけないのだろうと不安になりました。